



千坂校下 コミュニティ 協議会

(この人と語る)

令和4年度



千坂校下 町会連合会

秋のミニフェスタ
in千坂

令和4年度



各種団体長会議 座談会 （この人と語る）

コミュニティ協議会（会長 浦良一）は、令和4年11月21日（月）に福久会館において、「各種団体長との座談会」を開催した。

座談会には、浦良一コミュニティ協議会会長（町連会長）、森下忍防犯委員会会長、麦田徹交通安全推進協議会会長、竹村健一消防団団長、西本明弘千坂分団後援会会長が出席した。

司会は、奥出健三コミュニティ協議会副会長、記録は中眞市コミュニティ協議会副会長、オブザーバーとして浦勝利・北側美恵子コミュニティ協議会副会長が出席した。

主な話題として①出身 ②経歴 ③ 現況 ④会長を受けた経緯 ⑤活動内容 ⑥現在の課題⑦趣味等について、活発な話し合いが行われた。



【司会】 コミュニティ協議会の構成メンバーである諸団体代表者の方々との座談会は、今年で第3回目となります。 早速、座談会を始めさせていただきます。

今日のメンバーは、「防犯」とか「安全」に係る4名の方々に来て頂きました。

最初に千坂校下コミュニティ協議会の浦会長からご挨拶を頂きます。



司会進行 奥出副会長

【会長：浦】 皆さん大変お忙しいところをお集まりいただきまして有難うございます。

この会を始めたきっかけは、校下には活動している15の諸団体がありますが、地域の方々は各種団体とはいったい何だろう？ 何をやっているのだろう？ どんな人がやっているのだろう？ さっぱりわからないという疑問を持っている方が多くいるのが現状です。

ついては、各団体長に活動の内容や課題等について忌憚のないお話を聞かせていただき、後日広報して地域の方々により理解及び協力していただく一助になればと思っています。



コミュニティ協議会会長
浦 良一

【司会】 では、最初は千坂校下防犯委員会の森下会長お願い致します。

【犯委員会会長：森下】 まず、出身ですが生まれも育ちも校下の百坂町ですが、5年前に引っ越して今は荒屋団地に住んでおります。

経歴ですが、学校を卒業後は金沢市役所に勤めました。 4年前に定年退職を迎えまして現在は、学校給食の調理場に非常勤の場長として勤務をしております。

また、防犯委員会の会長を長らくさせて頂いているのですが、また新たに町会連合会にお声がけいただき、副会長として務めさせて頂いておりますし、1月からは地元荒屋住宅団地町会の会計をさせて頂いております、3つを掛け持ちでやっております。

4月の時期というのはどの団体も一番大事な時期ですが、その大事な時期にコロナにかかってしまい、2週間の休みを取りまして皆さんに大変なご迷惑をおかけしてしまいました。

防犯委員会の会長を引き受けた経緯ですが、46歳の時に当時住んでいた町会の町会長が「名前を書いておいたゾ！」と言われまして「ハア？」と思ったのですが、いつの間にか防犯委員会の幹事になっておりま



防犯委員会会長
森下 忍

して、それから10年間前会長の下で幹事をやっていましたが、10年たった時に近所の居酒屋で前会長の地元町会長から「あんたが防犯委員会の会長を引き受けてくれんから町会長を引き受けてくれんがいね」と口説かれまして、それで引き受けなければならなくなり、その後8年間防犯委員会の会長をやっています。

防犯委員会の役割としては、警察の補完組織として地域と警察の橋渡し役かなと思っています。上部組織として金沢東防犯協会があり、金沢東警察署管内の各校下を管轄していますが、事務局は東署の生活安全課にあります。また、下部組織として金沢東少年補導員4名と地域安全パトロール隊があります。防犯委員会自身は防犯委員が100名ほどですが、地域安全パトロール隊は200名を超えるメンバーで組織されていて、池田小（大阪）の事件を受けて大浦校下の平さんが頑張って見守り隊を組織して、全国に広げたという経緯があります。千坂校下にも見守り隊が必要であろうということで、前任の会長が頑張って組織化しました。勿論単独で出来るものではないので、町会連合会等諸団体のご協力を頂いて安全パトロール隊の組織を作り、隊長も会長が兼ねていたのですが、軌道に乗った段階で別組織にしまして、私が引き継ぐ前から独自の団体として活動しておられます。

現在の隊長は荒屋団地の田中さんがやっておられます。防犯委員会として一番大変だったのは地域安全パトロール隊を組織した前会長の時代だったかなあと考えておりまして、先代が築いた安定した地盤を引き継ぐ形となり、私個人としては随分と楽をさせて頂いているのかなと思っています。

活動内容ですが、基本的には各町会長に充て職として防犯委員会の理事と防犯推進員になって頂いて各町会の自主的な防犯活動をお願いしております。

防犯委員会の中心となる役員としては私を含め幹事が7名います。その幹事の独自の活動としては、校下を7名で区割りして青色パトロール車（東警察署から青色回転灯を使用する許可を受けた車）で5月から11月の間の週末を中心にパトロールを行っています。

会長を引き受けて一番大変なのは4月に行われる総会でして、防犯委員100名全員を対象に実際は毎回60名前後の方に集まって頂いて総会を開催していましたが、コロナ禍で2年前からは規約上の役員（理事と幹事）に集まって頂いて役員会を開催しています。実は総会の時に「今年は防犯委員会独自で研修会を致します」といつも言ってきましたが、結局は出来ない状況で来ており、今年は町会連合会の副会長をさせて頂いたので、町会長会議の後の方で時間を頂いていたのですが、会議が長引くことになりそれにコロナ禍が未だ完全には治まっていない状況の中では今年度も無理かなと思っています。

課題としては、8年目となり歴代の会長もこの辺のタイミングで交代されており、そろそろ誰か交代してもらえないかな！と思っています。相手がある事なのでどうなのかなと思いつつ少しは期待しております。

趣味ですが、40代後半からトレッキングで白山などの近隣の山に登っています。今年も白山へ2回行ったのですが、最近はコロナフレイルかも知れませんが脚力も体力も落ちていまして、室堂止まりで頂上にチャレンジ出来なかったのが、来年に向けて少し鍛えなければと思っています。

【司会】森下防犯委員会会長のお話を終了させて頂きます。

次に、交通安全推進協議会の麦田会長、宜しくお願い致します。

【交通安全推進協議会会長：麦田】麦田です。宜しくお願い致します。

私は3歳の時に千坂団地に越して来ました。当時住んでいた千坂団地の家からは柳橋車庫の「今日も元気で行ってらっしゃい」とかかれた看板が見えるほどでした。当時は看板を遮るものは何もありませんでした。いつの間にか家が建って見えなくなりましたが、来たところは田んぼだったのがいつの間にかレンコンに変わって更にいつの間にか家が変わったという感じです。

大学を卒業し就職をしてしばらくしてから父親がやっていた土建屋を継ぐという形で20年ほどやっていました。私には子どもが3人おりまして、一番上の子どもが小学校に入学した時に父親クラブ（育友会の下部組織みたいなもの）というのがあり、そこへ入り3人の子どもが卒業するまでの13年間父親クラブを経験させて頂きました。それをやっていた事がきっかけとなり育友会の会長もさせて頂きました。

当時、石川県では自転車の技術と規則を競い合う大会があり、交通安全推進協議会で子ども自転車教室として東警察署の指導員の指導を受けながら大会に出場するというお手伝いを、育友会長としてやっていたところ、交通安全推進協議会の会長から「育友会の会長を退任したら交通に入りなさい」と言われ、交通安全推進協議会に入ったという流れです。

交通安全推進協議会というのは、金沢東街頭交通推進隊（推進隊は金沢市長任命の組織）の千坂支隊（各校下に支隊がある）と、千坂交通安全協議会で構成されるので、よく勘違いされます。この二つには上下関係はなく、並列の組織でメンバーは同じですが、そこに所属しています。

会長については先輩方の推薦で、当初から会長をやらせていただいています。先ほどの森下さんの話を聞くと、私は10年以上になるので少し長いのかな？と思います。



交通安全推進協議会
麦田 徹

交通安全協議会の活動は、主に推進隊の仕事です。推進協議会は同じく各町会長に理事として入って頂いており、年に一度の総会で町会長に出席いただいて少し交通に関して関心をもってもらおうという組織なんだろうなと思っております。安全推進協議会のメンバーは全員街頭交通推進隊なので、推進隊は春・夏・秋・冬の交通安全週間に「赤ランプ作戦」があり、赤いチカチカ棒を持って夜街頭に立ちます。また、春・秋には子どもたちを連れて金沢市の安全大会または、安全の集いに参加をしています。

同じく春に交通安全3団体（交通安全推進協議会・交通少年団・千坂交通安全協議会）ということで総会をしています。

見守り隊が組織される前は、育友会の有志が週2回くらい自転車に乗って校下内を安全パトロールということで自転車で走り回っていました。そんな時期に池田小（大阪）の問題などがあって当時の防犯の会長と現在町連の副会長である浦勝利さんに「いつまでもそんな事ではダメだろう」と言われ、やっぱり多くの人に助けてもらわなければということで、見守り隊というのが出来たと思っておりますし、当時育友会の副会長だったデザイナーの方がステッカーなどを作ったことを思い出します。

活動については、交通の団体ですので千木交番・金沢北部交番とも連携が必要なので、それについてはしっかり連携をしなければと思っております。今までは懇親会等もやっていましたが、今はコロナ禍の中で出来なくなっています。

趣味は、車に乗ることです。どこへでも、何時間でも、運転が出来れば楽しいです。他は音楽が好きなのですが、今は聞く暇がなく車の中で聞いている程度です。

【司会】 有難うございました。何か質問等ないですか。

【会長からの質問】・・・交通安全協議会について具体的に話されましたが、見守り隊などの絡みが少しわかりにくかったですが、推進協議会自体がどんなことをやっているのかももう一度教えて下さい。

推進協議会は、交通安全に限るということで、警察の分類と同じで「交通」の方と、「防犯」の「生活安全」の方との違いです。千坂支隊は毎朝推進隊が学校の前に立っています。他校下の支隊は、毎月1日と15日に全員参加でやっていますが、千坂はローテーション組んで1人当たり月2回ほど回って来る形で毎日学校の前に立っています。

推進隊のメンバーは16名です。このほか、百万石行列時の交通誘導や提灯行列時の交通誘導などもやっております。

【司会】次に、金沢市第二消防団 千坂分団の竹村分団長宜しくお願いします。

【消防団団長：竹村健一】我々消防団は、金沢市消防団という組織の中に3団体49分団があり、基本団員は令和3年時点定員1,248名・実員1,015名、機能別団員という地域の現場だけに出て頂ける定員245名・実員119名の方々と構成されています。私たちが所属する第二消防団は、21分団で活動をしています。

基本的には特別職の地方公務員ということで、若干ですが出動報酬もありますし、退職金も支給されます。活動範囲ですが、以前は心意気を非常に大事にし、まして、浅野川からこちら側は必ず出動しておりました。近年は分団員の負担軽減の為に隣接校下への出動指令に対応しています。千坂校下で隣接校下といえますと、小坂・浅野町・大浦・松寺・森本・大正が当たります。

千坂校下の場合は救助出動、危険物の漏えい等すべての出動指令に対応しています。活動そのものは、常備消防といわれる普段から消防に勤務されている方々と我々は防災の両輪として、地域に関しては我々が守るという意識でみんな頑張っております。

私の若い頃は消防団の方々はヒーローへの憧れで、子どものころから消防団の近くで遊んでいて、将来自分も消防団に入れたらいいな・・・と思っていました。消防団の中には親子三代・二代という方がたくさんいます。近年はそういう流れが途絶えていまして、若い方がなかなか入って来ない。こういったボランティアで災害に対応すること自体が理解できないようで、「入ってよ！」といってもなかなか定着して頂けないのが現状です。

活動自体はそういった心意気で地域をしっかりと守って行く特別職の地方公務員という組織ですので、今後校下全域で団員を増やして行きたいと思っています。消防団の定員は30名ですが、現在実員は27名でやりくりしています。

はしご登りに関しては、金沢のはしご登りは我々が引っ張って来たという自負心、プライドを持って活動していますが、現在の千坂の演技者はもう40代ですので早急に演技者を育成していかなければならないという



消防団団長
竹村健一

使命があります。 百万石まつりのような華やかな場所で演技を是非やってみたいという方がいらっしやいましたら、入団して頂きたいと思います。

至って簡単ですが、消防団の説明を終わります。

【司会】有難うございました。 消防団の説明につきまして何か質問等ございませんか。

【会長からの質問】・・・ 以前、私も誤解していた部分がありまして、消防団の仕事などは金沢市に任せておけば良いではないか。 何で消防団を置かねばならないのか。 というようなこともありました。 現実には、金沢市の職員だけでは十分な消防活動ができないために、昔からの伝統で地域の安全は地域の消防団でということで、金沢市には49の地域消防団（自主防）があつて地域を支えているということですね。

そうですね。 金沢市が保有しているポンプ車17台に対し、分団が持つポンプ車は52台とかなり充実した装備が分団にあります。

【司会】有難うございました。 それでは最後に千坂分団後援会の西本会長よろしくお願い致します。

【千坂分団後援会会長：西本】千坂分団後援会会長の西本です。 今ほど竹村分団長が話しました内容で私の話すことが無いのではと思っております。

千坂分団を地域で支えようという団体です。

私は防犯委員会会長の森下さんと同じ年齢で、昭和33年に千木町で生まれました。 代々千木町に住んでおり、最近海側環状線が開通しました200から300メートル先に住んでおりまして、今は農業に従事しております。

作業用のハウスは道路の横にあり、これまでは来客を作業場に誘導するのが大変でしたが、今は環状千木交差点手前にあるハウスだと教えるとほぼ100パーセント間違いなく来て頂けるようになりました。 私は生まれた時から千木町で

生活していきまして、22歳の就職時に千木町の消防分団の分団長と副分団長が家にやって来まして、消防に入らないかと誘いを受け二つ返事で「ハイ」と言って受けました。

私の家は親の代から町内会の依頼やその他の依頼を断ったということが無い、見たことが無いという育ちだったので、良いも悪いも、わかるもわからないも何もしないで、二つ返事で受けました。

平成6年11月27日に千坂分団の後援会が設立されました。 地域で活動している分団には建物であったり、ポンプ車であったり、人員搬送、装備搬送をする二線車・三線車等が必要です。 平成6年頃に分団は意識的にも活動的にも非常に高まっていた時期で、市のポンプ車消防大会県大会で活躍していました。

また、はしご登りの活動や地域にPR（自分たちが行っている活動等）だったりということが増えて来ました。 そういう活動をやっているとそれに伴い出費がかさんできます。 消防大会で上の大会になるとと装備の点検をしたりとか、不足分の補いなどしなければならないことが出てきたり、当時は分団の幹部の方々が自主的に寄付を募って回って歩いておりました。 それを見かねて協力的に何か出来ないかということが、後援会を作るきっかけとなりました。

初代会長は千木町の羽場外次さんです。 すでに28年経ちますが、座談会の立会でここにいらっしやいます町連副会長の浦勝利さんが5代目の会長で、今年の春に浦さんから後援会長の打診があり、分団に入った時も二つ返事で入団しましたが、今回も二つ返事で会長を受けました。

私自身、分団を退団したものの後援会設立当時の苦労を知っており、いずれは何らかの形で後援会には関わって行くのかなまた、会長をやらなければと思っておりましたので、そのまま会長を引き受けることにしました。

実際後援会としての28年間はどのようなものであったかと言うと、この間に2度のポンプ車購入を致しました。 当時地元負担分は後援会から出しましたし、二線車の購入も2度ありました。 一番大きかったのは平成20年、私が分団長をしていました14年前に消防会館の建て替え時に支援して頂きました。 その当時は土地もややこしい形の登録であったため、これを機にしっかりとしたものになりました。

主だった活動は、車両の購入や更新のための補助。 分担金の捻出です。 今年末から来年にかけて、三線車の更新もあります。 これについては地元負担で更新しなければいけないので、それについても後援会の方で援助する予定であります。

現在、後援会の会員は企業を含め91団体で個人としては115名で構成しております。

ここ2～3年前から校下の方からも援助頂いておりますが、近年は基本会員も個人会員も離れて行く傾向があります。 そんな中で校下からの援助は大変有難いですし、分団の方も安心して活動が出来ていると思



千坂分団後援会会長
西本明弘

っています。

平成6年の頃の分団は、千木分団という名称でした。千木分団に千坂校下が援助するののかという話が出ました。金沢市49分団の中で過去に名称を変更した実績が無い所に平成6年に名称を千坂分団と変更した上で、後援会を発足させました。今まで28年間、地域の方々に援助を頂き有難いことだと思っております。今後もこのような形で継続頂ければと思っております。

会館も14年経ちますと、そろそろ手をかけなければならないところも出てきております。後援会としてはそういった援助もして行きたいと思っております。

最後に趣味ですが、私自身14年前に脱サラをしまして今は農業をやっています。農業をしている中でたまたま加賀野菜「金沢春菊」に出会いました。金沢では「つまじろ」とも言います。それを14年前から作り始めました。地元には昔から加賀れんこんがありますが、この千坂の地に金沢春菊があることを知って頂ければ嬉しいです。

【司会】 西本さん。有難うございました。
消防後援会のお話について何かご質問は？

【会長からの一言】 消防車を買う時には補助金以外の費用が多くかかることがあります、これらの負担に対して後援会を作って援助しているということですね。

私も苦い経験があります。後援会の役員をしているときに消防車を替えましたが、後援会費用だけではお金が足りなくて、各役員が5万円～10万円ほど通常の寄付金に追加して支払ったのを覚えております。この事がきっかけとなり、消防団への助成金をはじまったと記憶しております。

【西本】 建物を建てた時もお金が足りなくて役員が立て替えております。それで何とか建てる事が出来ました。皆さんにはそういう事もあったということを知って頂きたい。いつどのような災害があるかもわかりません。活動の中にも人手不足ということも有りましたが、頑張って活動していれば経費がかかるわけですから、後援会としては分団のことを理解して頂ければと思います。

【司会】 最後に浦会長、締めをお願いします。

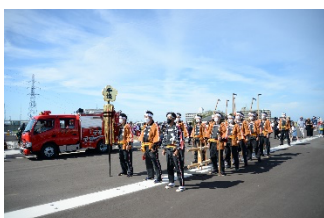
【会長】 今、お聞きしましたことを少しでも地域の方に知って頂き、少しでも各種団体の理解が深まればと3年間やってきました。今回も冊子を作って校下全戸に配布したいと思います。

今まで町会連合会としてこのような事をやったことがありませんでしたが、皆さんの協力を得て、概ね15諸団体の活動を紹介することができました。誠に有難うございました。

また、2022年9月25日に実施しました「秋のミニフェスタ in 千坂」の実施に当たって、ここにおられる麦田会長、竹村団長、森下会長をはじめ、少年連盟や婦人会、町会連合会の皆さん、獅子舞保存会、中学校の方々に並々ならぬご支援ご協力のお陰で、盛大に無事終えることが出来ましたことを、併せて御礼申し上げます。

【司会】 本日はこれで終了します。有難うございました。

秋のミニフェスタ in 千坂 写真



演技前の整列
格好いい・・・！

くじ引き
何が当たるかな



幼児も一緒
にお絵かき

秋のミニフェスタ報告

1200名を超える参加者で賑わう

去る9月25日（日）に海側幹線供用前の道路敷地内（千木～福久町）において、千坂校下町会合会が、石川県等の協力を得て、イベントを開催しました。



オープニングは、
 地元保存会による
 梯子のぼり
 獅子舞
 が披露されました

バルーンアート
 大変な人気で、数十メートルの列でした！

道路に落書き
 大人から幼児までが一緒に楽しく参加 ！！！！

ミニカートコーナー
 共用前の道路しか出来ない貴重なイベント！！ハンドルさばきがなかなか難しい！



焼きそば・レンコン販売
 やきそば330食・レンコン250本（1kg）が1時間で完売！！ビックリ！！
 申し訳ありませんでした！

くじ引き・スーパーボールコーナー
 長蛇の列で大忙し！良いものもらえたかな？



たいへんな賑わい
 どのコーナーも多くの方で一杯でした！ 有難うございました！



建設機械試乗コーナー
 思ったより高いな！

「秋のミニフェスタ in 千坂」の実施について（基本方針）

1. 目 的

千坂校下では、長く続いているコロナ禍において、これまでに多くの行事を自粛してきましたが、全国的に少しずつ地域活動の制限を緩和する動きが見え始めました。また、長きにわたって要望してきた海側環状道路の形が見え始め、令和4年末に供用することが公表されました。

そこで、千坂校下町会連合会では、県の協力を頂き、完成間近の海側環状道路の敷地内において、地域の賑わいや連携強化を図るためのイベントを開催することといたしました。

2. 3つの基本方針及び対応

（1）より多くの方の参加

- （ア）町会全世帯（3200世帯）、小学校、幼稚園等に開催チラシを配布
- （イ）少年連盟委員会に会長が出向き、会員の多くの方に参加していただくよう直接依頼（大変、精力的な活動をしていただきました）
- （ウ）各町会長に多くの方への周知依頼、ポスター掲示のお願い
- （エ）地元の中学生に落書きコーナーへの応援参加を依頼（見事なシンボルマークの蓮の花ができあがりました）

（2）より安全な開催

- （ア）保安要員、スタッフを含め約100人体制で、きめ細かな安全管理の徹底を行う（町会連合会の他、県関係、交通安全推進協議会、少年連盟、婦人会等に協力頂きました）
- （イ）県との2回を含む、5回の現地安全確認を実施し、安全柵の追加、突起物へ対応等を実施。
- （ウ）国・県・市・町連との安全対策会議の実施
- （エ）ミニカートコーナーの全周に安全柵の設置等、それぞれのコーナーで対策を実施
- （オ）千木交番・森本消防署に事業内容の説明及び異常時における協力依頼

（3）参加された方がより楽しく・心優しくなるようなイベントに

- （ア）子供から大人まで全ての方が楽しくなるような多種多様なイベント項目の開催
 - ・地元保存会による梯子のぼり、獅子舞
 - ・焼きそば、レンコンの販売
 - ・バルンアート
 - ・道路に落書きコーナー
 - ・くじ引き、クイズラリー
 - ・スーパーボールすくい
 - ・ミニカートコーナー
 - ・建設機械試乗体験等

3. 基本方針に対する結果

- （1）1200名を超える多くの参加者で賑わいました。
- （2）何ら事故報告もなく、安全にイベントを終えることが出来ました。
- （3）来場された多くの方々から、楽しかったとの声をかけて頂き、当初目的を十分に達成出来ました。

● おわりに

当初方針どおり、何ら事故もなく、多くの方に参加して頂き、イベントが盛況裡に終わることが出来ましたのは、協力頂いた方々や参加して頂きました皆様のお陰です。誠に有難うございました！